

和文抄録

アンブレティサッカー競技者における方向転換走パフォーマンスに関連する要因

順天堂大学
スポーツ健康科学研究科
学籍番号：4118012
氏名：岸 秀忠

【目的】

本研究は、アンブレティサッカー競技者における方向転換走パフォーマンスに関連する要因を明らかにすることを目的とした。

【方法】

対象者は男性アンブレティサッカー競技者 18 名であった。測定項目は身長、体重、年齢、握力、足趾把持筋力、立ち幅跳び、メディシンボールスロー、30m 直線走（最高スピード・20m 直線走スピード）、方向転換走テスト（ジグザグ走：45° 走・90° 走・135° 走）であった。本研究では方向転換走パフォーマンスとして方向転換走スピードおよび方向転換指数の 2 つの指標を用いた。方向転換走パフォーマンスと測定項目との関係は相関分析を用いて検討した。また、残存肢が方向転換走パフォーマンスに及ぼす影響を検討するために、t 検定を用いた。

【結果】

- 1) 45° 走パフォーマンスでは、45° 走指数とメディシンボールスローとの間に相関関係が認められた。
- 2) 90° 走パフォーマンスでは、90° 走スピードと体重、最高スピード、立ち幅跳びとの間に相関関係が認められた。
- 3) 135° 走パフォーマンスでは、135° 走スピードと身長、体重、最高スピード、立ち幅跳びとの間に相関関係が認められた。
- 4) 45° 走では非残存肢側方向転換よりも残存肢側方向転換の方が有意に速い値を示した。

【結論】

アンブレティサッカー競技者の方向転換走パフォーマンスには体格、スピード、上肢および下肢の筋パワー、残存肢が関連し、方向転換走の角度によって、関連する要因が異なることが示唆された。